

No	日付	資料	ページ等	コメント内容	コメント対応	回答日	完了
1	7月24日	技術評価書	37	技術評価書2.3.1(2)現状保全(P37)で、コンクリートの強度低下については定期的に屋内のコンクリート表面のひび割れなどの目視確認を行い、強度に支障をきたす可能性のあるような有意な欠陥がないことを確認したとしている。熱による強度低下について、目視確認の結果(補修の有無を含む)が熱に起因するものか関係性(可能性)を整理し補足説明資料に示すこと。目視確認では熱に起因すると判断されるひび割れを確認できない場合は、その旨を補足説明資料に示すこと。	目視点検では熱に起因すると考えられるひび割れ等の劣化が確認されていない旨を補足説明資料に追記する。 [補足説明資料 P.18]		
2	7月24日	技術評価書	37	技術評価書2.3.1(2)現状保全(P37)で、コンクリートの強度低下については定期的に屋内のコンクリート表面のひび割れなどの目視確認を行い、強度に支障をきたす可能性のあるような有意な欠陥がないことを確認したとしている。放射線による強度低下について、目視確認の結果(補修の有無を含む)が放射線に起因するものか関係性(可能性)を整理し補足説明資料に示すこと。目視確認では放射線に起因すると判断されるひび割れを確認できない場合は、その旨を補足説明資料に示すこと。	目視点検では放射線照射に起因すると考えられるひび割れ等の劣化が確認されていない旨を補足説明資料に追記する。 [補足説明資料 P.20]		
3	7月24日	技術評価書	14	技術評価書表2.1-2(P14)の各産地における粗骨材及び細骨材について、2.2.3(1)aで1985年にモルタルバー法(ASTM C227)によるアルカリ骨材反応の反応性試験を実施したとしている。新規制基準後に設置したコンクリート構造物のコンクリートの骨材に対する反応性試験の結果を補足説明資料に示すこと。	新規制基準後に設置したコンクリート構造物のコンクリートの骨材に対する反応性試験の結果を補足説明資料に追記する。 [補足説明資料 別紙14 P.14-1, 14-2]		
4	7月24日	補足説明資料	21	中性化による強度低下の評価点について、3, 4号炉の特別点検の結果を踏まえて選定しているのか、説明すること。	特別点検の実測値が最大であった箇所を評価点として選定している旨がわかるように、補足説明資料の記載を充実する。 [補足説明資料 P.21]		
5	7月24日	補足説明資料	24	塩分浸透の特別点検の強度試験の結果を示すこと。具体的には、P20において中性化に関する強度試験結果を示しているのと同様に記載すること。	塩分浸透の評価点付近における強度試験の結果を補足説明資料に追記する。 なお、P.20に記載しているのは放射線照射の評価点近傍における強度試験結果であるため、中性化深さの評価点付近における強度試験結果をあわせて補足説明資料に追記する。 [補足説明資料 P.22, 24]		